

■ 第40号コンテンツ(目次)

1. みなとオアシス仙台港ウォークを開催しました！—公営事業課— 1頁
2. 蔵王山噴火対策を実施しています！—仙南・仙塩広域水道事務所— 2頁
3. みずむすびフェス2024を開催しました！—中南部下水道事務所— 3頁

■みなとオアシス仙台港ウォークを開催しました！

令和6年10月19日(土)、『第6回みなとオアシス仙台港ウォーク』を開催しました。

このイベントは、商業施設や工場などが立ち並び、今なお発展を続ける仙台港周辺を散策し、地域の魅力の再発見と賑わい創出につなげようと企画されているものです。第6回となる今回は、県内外(遠くは埼玉県)より、小さなお子様から80歳代の方まで、124名の皆さまにご参加いただきました。

当日は天候に恵まれ、仙台の最高気温が27℃と、季節外れの汗ばむ陽気での開催となりましたが、参加された方は、その暑さもなんのその、仙台港に吹く心地良い潮風を感じながら楽しく歩かれていました。

仙台港周辺にある、標高3メートルの日本一低い山「日和山」などの人気スポットや大規模な工場など、震災からの復興が進んだ街並みや景色を眺めつつ、参加された方同士のコミュニケーションも楽しまれました。

完歩後は、「素晴らしい景色を見られて心が癒された」、「日和山登頂はよい思い出になった」、「大勢の人と一緒に歩くことで親交を深められた」、「来年も参加したい」などといった声が多数寄せられ、イベントは盛況のうちに終了しました。

【当日の様子】



■蔵王山噴火対策を実施しています！

南部山浄水場(仙南・仙塩広域水道事務所:白石市内)の背後には蔵王山(蔵王連峰)がそびえています。雄大な景観は多くの人を楽しませていますが、この蔵王山は過去の火山活動によって形成された複合火山群であり、江戸時代や明治時代には噴火したという記録もあります。

現在、蔵王山は活火山に分類され、直近では平成30年に火口周辺警報※が発令されています。また、最近でも、蔵王山付近が震源と見られる火山性地震が確認されるなど、今後もこうした火山活動に留意しなければなりません。

※火口周辺警報・・・噴火警報(噴火に関する重大な災害の起こるおそれのある場合に気象庁が発表する警報)のうち、「警戒が必要な範囲」が火口周辺に限られる場合に発表する警報。



蔵王山と南部山浄水場の位置関係

南部山浄水場は蔵王山の東側に位置していることから、万が一噴火した場合、相当量の火山灰が降下することが想定されています。

火山灰が浄水場内に降下すると、浄水処理が十分に行えず、水道用水の供給が困難になることが想定されます。そこで、南部山浄水場の独自対策として「蔵王山噴火対策」を実施しています。

今回ご紹介する「蔵王山噴火対策」は、噴火の際の火山灰への防御対策である『覆蓋設置工事』と、『噴火時対応訓練』です。

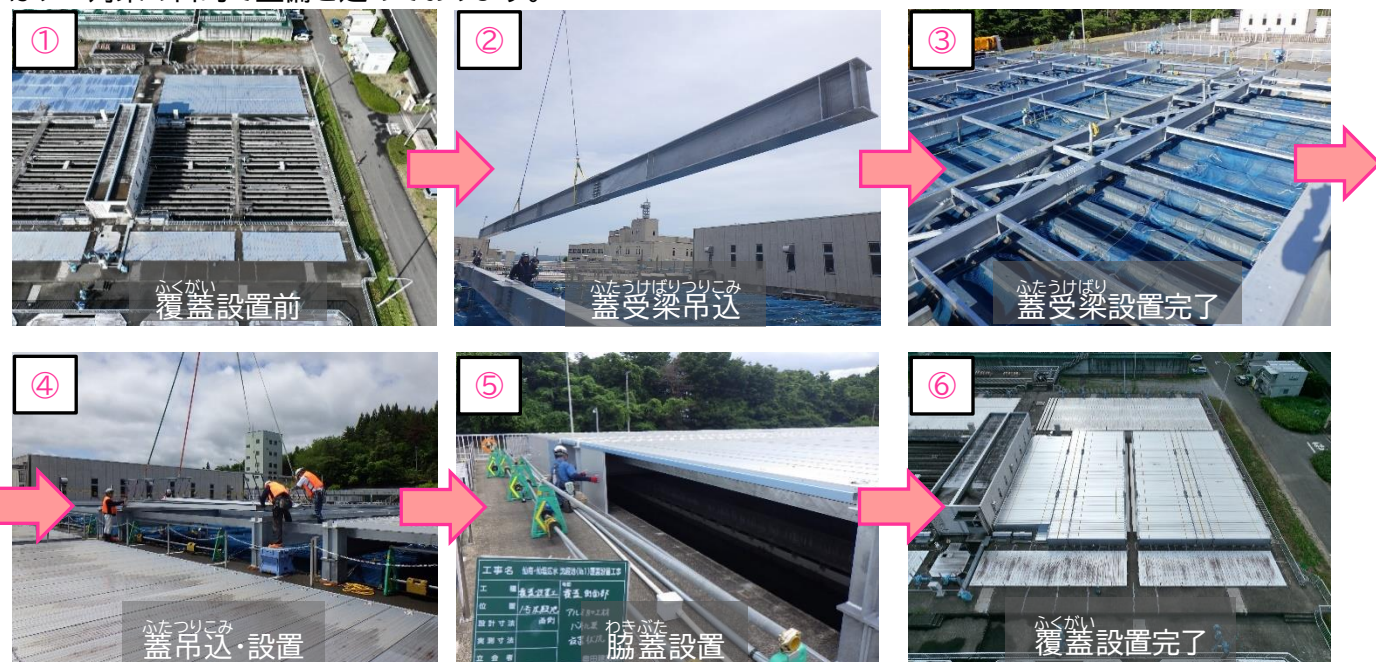
(出典：火山防災マップ宮城版)

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/bousai/zaozanmap-170118.html>

○覆蓋設置工事

『覆蓋(ふくがい)』という言葉はあまり聞きなじみがないかもしれませんが、水処理施設等の上を覆う蓋(ふた)のことであり、火山灰対策だけでなく、積雪が多い地域にも多く見られる施設です。

南部山浄水場では、蔵王山噴火時における火山灰の浄水施設内への降下対策をはじめ、積雪対策、さらにはテロ対策の目的で整備を進めております。



○噴火時対応訓練

噴火時対応訓練とは、仙台管区气象台から蔵王山の噴火警報(噴火警戒レベル4)が発表されたことを想定した訓練であり、官民連携運営事業(みやぎ型管理運営方式)を導入した令和4年度以降は、浄水場等の運営主体となった運営権者が主体となって毎年実施しています。

令和6年11月29日に実施した訓練では、運営権者と宮城県とで危機管理時のマニュアルを確認し、噴火した際に想定されるシナリオを基に各担当者の対応手順、各関係機関との情報共有方法、災害対応備品の保管場所等を再確認しました。

その後、実際に浄水場内の設備を操作するための「現場盤」をブルーシートで覆う養生作業訓練を実施しました。この訓練は、火山噴火の際に飛散する火山灰等が現場盤内部に侵入することを防ぐ目的で実施するものです。

火山灰のような細かい粒子が現場盤内部に侵入してしまうと、内部の電子機器が故障し、最悪の場合、浄水機能が停止してしまうおそれがあります。このような事態を防ぐ対策の一助として、今後も本訓練を実施してまいります。



養生作業訓練状況



訓練講評

南部山浄水場では、県民の皆様への水道用水の安定供給に向け、今後とも、蔵王山噴火対策に取り組んでまいります。

■みずむすびフェス 2024 を開催しました！

みずむすびフェス(愛称「みずフェス」)は、水道や下水道をより知っていただくため、地域の皆様に浄化センターを開放するイベントです。『下水道まつり』の名称で開催されていたイベントを令和4年度から名称を新たにし、運営権者が主催となって今回で3回目の開催となります。今回の『みずフェス』には、想定を大きく超える約3,300名(県内3箇所合計)もの皆様にご来場いただき、大盛況のうちに終了しました。

会 場	仙塩浄化センター	県南浄化センター	大和浄化センター
日 時	令和6年9月14日(土) 午前10時～午後3時	令和6年9月28日(土) 午前10時～午後3時	令和6年10月12日(土) 午前10時～午後3時
来場者数	約1,250名	約1,060名	約960名
主 催	運営権者:株式会社みずむすびマネジメントみやぎ、株式会社みずむすびサービスみやぎ		
後 援	宮城県企業局等		

小さなお子様と一緒に楽しめるショー、高所作業車体験、浄化センター内部に潜入する見学ツアーなどの催しで、皆様楽しんでいただけた『みずフェス』となりました。たくさんのご来場ありがとうございました。令和7年度も開催を計画しておりますので、ぜひご来場ください！

■会場の様子

○ 仙塩浄化センター

ボルルン
(下水道 PR キャラクター)



大抽選会



センエンちゃん
(下水道 PR キャラクター)



○ 県南浄化センター

むすび丸出演イベント



高所作業車体験



ステージイベント



○ 大和浄化センター

地下管廊探検ツアー



地下管廊内展示
(ハロウィンおばけ)



微生物観察体験



【第 40 号編集担当・お問い合わせ先】

公営事業課総務班(事務局)

電話:022-211-3413

E-mail:kigyo@pref.miyagi.lg.jp

【企業局の情報はこちら】

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/16.html>

【メビウスのバックナンバーはこちら】

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kigyo/mebiusu->